

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第9期） 策定のための調査

ご協力をお願い

皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聞きし、令和5年度に策定を予定しております「府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第9期）」の基礎資料とするために、高齢者福祉全般の調査を実施します。

本調査は、府中市内の医療機関にお願いをさせていただき、ご意見やご要望をおうかがいするものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理するとともに、「府中市個人情報の保護に関する条例」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和4年12月

府中市長 高野 律雄

【ご記入に当たってのお願い】

◇調査票の記入について

- ・次のとおり、医療機関ごとに記入者を指定させていただきます。
 - ①一般診療所：医師の方
 - ②歯科診療所：歯科医師の方
 - ③薬局：薬剤師の方
 - ④訪問看護ステーション：訪問看護師の方
 - ⑤病院：退院支援担当者（医療ソーシャルワーカー、看護師等）の方
- ・調査基準日は、令和4年12月1日とします。（期日の指定のあるものを除く）
- ・設問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、（ ）内に具体的にご記入ください。
- ・設問によって、○をつけていただく数を（ ）内に指定していますので、ご注意ください。
- ・調査票の回答に係る時間は、およそ15分です。
- ・本調査は、下記URL及び右に記載の2次元コードからご回答いただくことも可能です。

URL:

二次元コード

◇調査票のご回答について

調査票は、1月13日（金）までにご回答いただきますようお願いいたします。書面でご回答いただく場合は、同封の返信用封筒に入れ、ご返送くださいますようお願いいたします。（切手は不要です）

◇調査についてのご質問などは、下記までお問い合わせください。

府中市福祉保健部高齢者支援課地域包括ケア推進係

電話（042）335—4537（直通）

最初に、あなたやあなたの所属されている医療機関についておたずねします

問1 あなたが所属されている医療機関を教えてください。(1つに○)

1. 一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）
2. 一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出無）
3. 歯科診療所
4. 薬局
5. 訪問看護ステーション
6. 病院の退院支援担当者（病院の地域連携室、看護師等）
7. その他（具体的に： _____）

問2 あなたの職種は次のどれですか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 医師 | 2. 歯科医師 |
| 3. 薬剤師 | 4. 看護師 |
| 5. 訪問看護師（具体的に： _____） | 6. 医療ソーシャルワーカー |
| 7. その他 | |

医療と介護の連携についておたずねします（全職種共通設問）

問3 府中市民の在宅療養者を支える医療と介護の連携の状況についてどのように思いますか。
(1つに○)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 十分連携していると思う | 2. ある程度連携していると思う |
| 3. 連携が不十分であると思う | 4. ほとんど連携していないと思う |

問3で「3」又は「4」とお答えの方におたずねします

問3-1 そのように考える理由は何ですか。(3つまでに○)

1. 医療と介護の関係者間で共通の目的を持っていない
2. お互いに多忙で連絡がとれない
3. 個人情報保護の観点から情報が共有されない
4. 交流の場がない
5. 誰と連絡をとればいいのか分からない
6. 介護保険など福祉の制度が分からない
7. 介護関係者の医療に関する知識や理解が不足している
8. その他（具体的に： _____）

病院の退院支援担当者以外の方におたずねします

問4 退院前（時）カンファレンスやサービス担当者会議に出席したことがありますか。（1つに○）

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問5 介護サービス利用者について、次の関係機関、職種との連携状況をお答えください。
（ア～ソそれぞれ1つに○）

項 目	連 携 し て い る	少 し は 連 携 し て い る	あ ま り 連 携 し て い な い	連 携 し て い な い
ア. 病 院	1	2	3	4
イ. 介護サービス利用者のかかりつけ医	1	2	3	4
ウ. 介護サービス利用者が必要と考えられる診療科単科の医師	1	2	3	4
エ. 歯科医師	1	2	3	4
オ. 薬剤師	1	2	3	4
カ. 病院の地域連携室（医療ソーシャルワーカー）	1	2	3	4
キ. 地域包括支援センター	1	2	3	4
ク. 訪問看護ステーション	1	2	3	4
ケ. ケアマネジャー（介護支援専門員）	1	2	3	4
コ. ホームヘルパー（訪問介護員）	1	2	3	4
サ. 通所介護（デイサービス）	1	2	3	4
シ. 訪問・通所リハビリテーション	1	2	3	4
ス. 短期入所生活介護（ショートステイ）	1	2	3	4
セ. 特別養護老人ホーム	1	2	3	4
ソ. 介護老人保健施設	1	2	3	4

問6 貴事業所（貴機関）では、MCS（メディカル ケア ステーション）を活用していますか。
（1つに○）

- | | |
|-------------|---------------------------|
| 1. 現在活用している | 2. 現在活用していないが、必要があれば活用できる |
| 3. 活用していない | 4. わからない |

問6で「3. 活用していない」とお答えの方におたずねします

問6-1 その理由は何ですか。（1つに○）

- | | |
|---------------|---|
| 1. 法人（事業所）の方針 |) |
| 2. 必要性を感じていない | |
| 3. その他（具体的に： | |

問7 介護保険制度及び介護保険サービスの内容についてどの程度理解していますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 十分理解している | 2. ある程度理解している |
| 3. あまり理解していない | 4. 全く理解していない |
| 5. どちらともいえない | |

問8 医療職と介護職が連携するために、どのようなことが充実するとよいと思いますか。
(3つまでに○)

- | |
|------------------------------------------------------|
| 1. 医療と介護の関係者間で共通の目的を持つ |
| 2. 医師・歯科医師がケアマネジャー（介護支援専門員）の相談を受け付ける時間「ケアマネタイム」を充実する |
| 3. 在宅療養者の情報を共有するための統一的なフォーマットを作成する |
| 4. 医療と介護の連携マニュアルを作成する |
| 5. 医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場を確保する |
| 6. 医療関係者と介護関係者が一緒に学ぶ研修の場を確保する |
| 7. 関係者のためのインターネット上で連絡がとれる仕組みを推進する |
| 8. 医療と介護が相互理解のため、それぞれがお互いの分野の知識を深める研修を行う |
| 9. その他（具体的に： _____) |

問9 在宅療養を支えるうえで、さらに連携が必要と考える事業所や介護職は何ですか。(2つまでに○)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. ケアマネジャー（介護支援専門員） | 2. 地域包括支援センター |
| 3. ショートステイ（短期入所）事業所 | 4. 通所介護事業所 |
| 5. ヘルパー（訪問介護） | 6. 生活支援コーディネーター |
| 7. 福祉用具事業所・福祉用具専門相談員 | |
| 8. その他（具体的に： _____) | |

問 10 今後、次のような認知症や認知症の介護に関する研修があれば受けたいですか。
(いくつでも○)

1. 認知症サポーター養成講座

地域のなかで認知症について正しく理解し認知症の人や家族を温かく見守り、支援する
応援者の研修

2. キャラバン・メイト養成研修

地域の認知症サポーター養成講座の企画や講師を務める指導者を育成する研修

3. かかりつけ医認知症研修

かかりつけ医に対し、適切な認知症診断の知識、家族からの話や悩みを聞く姿勢を習得
する研修

4. 認知症サポート医養成研修

かかりつけ医への助言など、認知症地域医療体制の中核的役割を担う医師を養成する研修

5. (歯科医師・薬剤師・看護師) 認知症対応力向上研修

適切な認知症診断の知識、家族からの話や悩みを聞く姿勢を習得する研修

6. その他(具体的に：

)

7. 特になし

《診療所(医師の方)は、P 5・問 1 1にお進みください》

《歯科診療所(歯科医師の方)は、P 7・問 1 7にお進みください》

《薬局(薬剤師の方)は、P 9・問 2 0にお進みください》

《訪問看護ステーション(訪問看護師の方)は、P 1 0・問 2 2にお進みください》

《退院支援担当者(医療ソーシャルワーカー、看護師)がいる病院は、
P 1 2・問 2 5にお進みください》

診療所（医師の方）にうかがいます

問 11 現在、あなたの診療所が行っている在宅医療はどれですか。（いくつでも○）

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 訪問診療 | 2. 往診 |
| 3. 在宅での看取り | 4. 居宅療養管理指導 |
| 5. 訪問看護 | 6. 訪問看護指示書の交付 |
| 7. 訪問リハビリテーション | 8. 行っていない |

問 11 で「1」～「7」とお答えの方におたずねします

問 11-1 訪問診療や居宅療養管理指導の依頼元はどこですか。（いくつでも○）

- | | |
|-------------------------------------|---------------------|
| 1. 通院していた患者が訪問診療や居宅療養管理指導を受けるようになった | |
| 2. 以前からのかかりつけ医師 | |
| 3. 医師会からの依頼 | 4. 主治医 |
| 5. 病院からの紹介 | 6. ケアマネジャー（介護支援専門員） |
| 7. 訪問看護ステーション | 8. 介護サービス事業者 |
| 9. 本人又は家族 | |
| 10. その他（具体的に： _____） | |

問 12 あなたの診療所と、他の医療機関との連携はとれていますか。（1つに○）

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 十分連携している | 2. ある程度連携している |
| 3. 連携が不十分である | 4. ほとんど連携していない |
| 5. どちらともいえない | |

問 13 あなたの診療所では、介護関係者との情報交換の機会を確保していますか。（1つに○）

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 確保している | 2. 確保していない |
|-----------|------------|

問 14 認知症の方を治療するときに困ることは何ですか。（いくつでも○）

- | | |
|-------------------------|--|
| 1. 処方した薬の飲み間違いがある | |
| 2. 病気に対する適切な対応の仕方が分からない | |
| 3. 処方する薬のことが分からない | |
| 4. 本人や家族から正確な情報が得られない | |
| 5. 治療の方針が理解してもらえない | |
| 6. 症状や状態の変化によって治療が難しい | |
| 7. その他（具体的に： _____） | |

問 15 認知症サポート医に相談をしたことがありますか。（1つに○）

- | | | |
|-------|-------|-------------------|
| 1. ある | 2. ない | 3. 自分が認知症サポート医である |
|-------|-------|-------------------|

問 16 認知症の方の治療を専門医に紹介することはありますか。(1つに○)

- | | |
|-------|---------------------|
| 1. ある | 2. ない (→P13 問28へ進む) |
|-------|---------------------|

問 16で「1. ある」と回答した方におたずねします

問 16-1 どのような目的で紹介をしますか。(いくつでも○)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 認知症の鑑定診断を依頼するため | 2. 治療方針の助言を受けるため |
| 3. 処遇に関する参考意見を得るため | 4. 治療を依頼するため |
| 5. その他(具体的に: _____) | |

問 16-2 どのような機関の専門医ですか。(いくつでも○)

- | | |
|-------------------------------|-------------------|
| 1. 認知症疾患医療センターの専門医 | 2. 高齢者医療の専門機関の専門医 |
| 3. 高齢者医療の専門ではないが設備のある医療機関の専門医 | |
| 4. その他(具体的に: _____) | |

問 16-3 そのときどのようなことが問題になりますか。(いくつでも○)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 本人や家族の理解が得られない | 2. 適切な医療機関が分からない |
| 3. 紹介する先が多忙で時間がかかる | 4. 手続きが煩雑で時間がかかる |
| 5. その他(具体的に: _____) | 6. 特に問題はない |

歯科診療所（歯科医師の方）にうかがいます

問 17 あなたの歯科診療所では、訪問歯科診療や居宅療養管理指導を行っていますか。（1つに○）

- | | |
|----------|--------------------|
| 1. 行っている | 2. 行っていない（→問18へ進む） |
|----------|--------------------|

問 17で「1」とお答えの方におたずねします

問 17-1 あなたの歯科診療所では、訪問時に口腔衛生指導等を実施していますか。（1つに○）

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 実施している | 2. 実施していない |
|-----------|------------|

問 17-2 あなたの歯科診療所では、歯科衛生士による訪問歯科衛生指導及び居宅療養管理指導を実施していますか。（1つに○）

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 実施している | 2. 実施していない |
|-----------|------------|

問 17-3 訪問歯科診療や居宅療養管理指導で対応可能な治療は何ですか。（いくつでも○）

- | | |
|-------------|----------------------------------------|
| 1. 義歯の作成や調整 | 2. むし歯の治療（具体的に： ） |
| 3. 歯周病の治療 | 4. 摂食嚥下指導 |
| 5. 歯科衛生指導 | 6. 応急処置のみ |
| 7. その他 | |

問 17-4 訪問歯科診療や居宅療養管理指導の依頼元はどこですか。（いくつでも○）

- | | |
|--------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 通院していた患者が訪問歯科診療や居宅療養管理指導を受けるようになった | |
| 2. 以前からのかかりつけ歯科医師 | 3. 歯科医師会からの依頼 |
| 4. 主治医 | 5. 病院からの紹介 |
| 6. 都立心身障害者口腔保健センターからの紹介 | 7. ケアマネジャー（介護支援専門員） |
| 8. 訪問看護ステーション | 9. 介護サービス事業者 |
| 10. 本人又は家族 | |
| 11. その他（具体的に： ） | |

問 18 今後、依頼があった場合に訪問歯科診療や居宅療養管理指導の実施は可能ですか。（1つに○）

- | | |
|-------------------------------------------------------------|--|
| 1. 依頼があれば、訪問する | |
| 2. 訪問するが、治療内容によっては通院してほしい | |
| 3. 訪問はできない | |
| 4. その他（具体的に： ） | |

問 19 あなたの歯科診療所では、在宅で療養生活を送っている府中市民の方の主治医（かかりつけ医）と連携していますか。（1つに○）

- | | |
|------------------------|------------|
| 1. 連携している（→P13 問28へ進む） | 3. 連携していない |
| 2. あまり連携していない | |

問 19で「2」又は「3」とお答えの方におたずねします

問 19-1 その理由は何ですか。（1つに○）

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 連携が必要な事例がない | 2. 連携の方法が分からない |
| 3. 必要と思わない | |
| 4. その他（具体的に： _____） | |

薬局（薬剤師の方）にうかがいます

問 20 あなたの薬局を利用されている方の中に、現在、在宅患者訪問薬剤管理指導（居宅療養管理指導）を利用している府中市民はいますか。（1つに○）

1. いる（→問 20-1 へ進む） 2. いない（→問 20-4 へ進む）

問 20 で「1」とお答えの方におたずねします

問 20-1 居宅療養管理指導の依頼元はどこですか。（いくつでも○）

1. 以前からの患者が居宅療養管理指導を受けるようになった
 2. 主治医 3. 薬剤師会からの依頼
 4. ケアマネジャー（介護支援専門員） 5. 訪問看護ステーション
 6. 介護サービス事業者 7. 本人又は家族
 8. その他（具体的に： ）

問 20-2 医師との連携をどのようにとっていますか。（1つに○）

1. 処方箋のみのやりとり（→問 21 へ進む）
 2. 処方箋以外の連携や指示がある
 3. その他（具体的に： ）

問 20-2 で「2」又は「3」とお答えの方におたずねします

問 20-3 具体的にどのような手段が用いられていますか。（いくつでも○）

1. 文章 2. 電話
 3. ファックス 4. 電子メール
 5. 訪問（次の①、②のうち該当するものを○）
 ⇒（①医師を訪問 / ②医師が薬局を訪問）
 6. ケース会議・カンファレンスに参加 7. その他（具体的に： ）

問 20 で「2」とお答えの方におたずねします

問 20-4 いない理由は次のどれですか。（いくつでも○）

1. 時間がない 2. 報酬が少ない
 3. 特に要請がない 4. 保険請求が分からない
 5. 在宅の薬剤管理指導が難しい 6. 在宅の薬剤管理指導の対応が分からない
 7. 自分がしなくてもいいと思う 8. 面倒である
 9. その他（具体的に： ）

問 21 府中市内で訪問診療を行う在宅療養支援診療所の処方箋を取り扱っていますか。（1つに○）

1. 取り扱っている→1か月平均（ ）人
 2. 取り扱っていない

訪問看護ステーション（訪問看護師の方）にうかがいます

問 22 あなたの訪問看護ステーションでの、令和4年11月中の活動状況をお答えください。(①～③それぞれ1つに○)

項 目	1. 行 っ た	2. 行 わ な か っ た
①緊急対応時の訪問看護	1	2
②医療保険による訪問看護	1	2
③在宅での看取り	1	2

問 23 あなたの訪問看護ステーションでは、在宅医療を実施している医療機関とどのような連携をとっていますか。(ア～ウそれぞれ1つに○)

項 目	十 分 と れ て い る	あ る 程 度 と れ て い る	あ ま り と れ て い な い	全 く と れ て い な い
ア. 在宅療養者の医療と看護に関する情報の交換	1	2	3	4
イ. 在宅療養者の急変時の対応	1	2	3	4
ウ. 24時間の支援体制	1	2	3	4

問 23 で、1つでも「3」又は「4」とお答えの方におたずねします

問 23-1 在宅医療を実施している医療機関との連携がとれていない理由として特筆すべきことがございましたら、ご自由にお書きください。

問 24 医師との連携をどのようにとっていますか。(1つに○)

1. 訪問看護指示書のみのやりとり (→P13 問28へ進む)
 2. 訪問看護指示書以外の連携や指示がある
 3. その他(具体的に: _____)

問 24 で「2」又は「3」とお答えの方におたずねします

問 24-1 具体的にどのような手段が用いられていますか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------------------------------------------|----------|
| 1. 文章 | 2. 電話 |
| 3. ファックス | 4. 電子メール |
| 5. 訪問（次の①、②のうち該当するものを○）
⇒（①医師を訪問 / ②医師が訪問看護ステーションを訪問） | |
| 6. ケース会議・カンファレンスに参加 | |
| 7. その他（具体的に： | ） |

退院支援担当者（医療ソーシャルワーカー、看護師）がいる病院にうかがいます

問 25 貴医院における令和4年11月中の活動状況をお答えください。(①～④それぞれ1つに○)

項 目	1. 行 っ た	2. 行 わ な か っ た
①退院支援の相談	1	2
②退院前（時）カンファレンス	1	2
③退院支援の訪問診療の調整	1	2
④退院時の訪問看護の調整	1	2

問 26 貴医院では、どのような地域連携活動を行っていますか。(いくつでも○)

1. 主治医とケアマネジャー（介護支援専門員）との連携を図る窓口となっている
2. 入院時から退院後の相談に応じている
3. 退院に関する情報を主治医、医療相談、看護師等の担当者間で共有している
4. 地域の介護職を交えて退院前（時）カンファレンスを行っている
5. その他（具体的に： _____)

問 27 介護保険施設とどのように連携していますか。(いくつでも○)

1. 介護保険施設の医師や看護師から入所者の健康管理や処置の情報を入手している
2. 介護保険施設の相談員や介護職員から入所者のケアや生活状況の情報を入手している
3. 介護保険施設と提携している
4. 急変時に受け入れるベッドを確保している
5. その他（具体的に： _____)

在宅医療の実施状況についておたずねします

問 28 在宅医療を行われている上で、どのような苦勞がありますか。(いくつでも○)

- 1 患者や家族の理解・協力を得ること
- 2 24 時間訪問診療可能なスタッフの確保
- 3 緊急時に入院又は搬送できる医療機関との連携体制の確保
- 4 緊急時に連絡を受けられる診療所の体制の確保
- 5 夜間等緊急時に関係機関と連絡が取れない
- 6 診療所職員の在宅医療に関する知識や技術の向上
- 7 介護関係者との連携・連絡体制の構築
- 8 介護関係者の在宅医療に関する知識や理解の向上
- 9 在宅医療に必要な医療材料・機器の確保
- 10 在宅医療を希望する患者が多すぎて手が回らない
- 11 診療報酬が見合わない
- 12 移動時間がかかり非効率
- 13 プライベートの時間の確保が難しい
- 14 外来時間内の往診依頼の対応
- 15 その他 ()
- 16 特にない

問 29 今後、在宅医療・在宅ケアを推進するために、どのような取組が重要だと思えますか。(いくつでも○)

- 1 複数の医療機関が在宅医療を分担しあう体制や情報提供手段を構築する
- 2 緊急時の受け入れ等、専門医療機関との連携体制を構築する
- 3 在宅生活を支える訪問看護など介護保険サービスの充実を図る
- 4 地域の診療所全体の在宅医療に関する知識や技術の向上を図る
- 5 地域ケア会議やサービス担当者会議等に参加し、介護との連携体制を構築する
- 6 在宅医療の重要性を地域の医療機関に啓発・普及する
- 7 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の普及を図る
- 8 介護する家族に対する支援の充実を図る
- 9 地域住民への在宅医療に関する普及・啓発を行う
- 10 診療報酬を改定する
- 11 情報共有ツールの活用
- 12 その他 ()
- 13 特にない

地域包括ケアシステムの構築に向けた医療と介護の連携についておたずねします

問 30 患者本人のケアマネジャー（介護支援専門員）との連携や情報共有の状況はいかがですか。
（1つに○）

- | |
|---------------------------------------|
| 1 必ずケアマネジャー（介護支援専門員）と連携ができています |
| 2 どちらかといえば、ケアマネジャー（介護支援専門員）と連携ができています |
| 3 どちらかといえば、ケアマネジャー（介護支援専門員）と連携ができていない |
| 4 全くケアマネジャー（介護支援専門員）と連携ができていない |
| 5 どちらともいえない |

問 31 ケアマネジャー（介護支援専門員）、訪問看護師、福祉施設介護員、福祉施設生活相談員、ホームヘルパー（訪問介護員）、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士にどのようなことを期待しますか。
それぞれ具体的にお書きください。

ケアマネジャー（介護支援専門員）	
訪問看護師	
福祉施設介護員	
福祉施設生活	
相談員	
ホームヘルパー（訪問介護員）	
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	
その他	

問 32 2025 年に向けて地域包括ケアシステムの構築が求められていますが、その中で医療と介護の連携は最重要課題であるといわれています。これから府中市で医療と介護の連携が進むために、どのようなことが必要だとお考えですか。

(1) 連携の仕組みづくり (2つまでに○)

1. 多職種との顔の見える関係づくり、交流を進める
2. 府中市内に包括的な医療介護の連携拠点を整備する
3. 医療介護の療養連携共通シートをつくる
4. 患者の情報などをネット上で共有するツールを推進する
5. 摂食・嚥下、緩和ケア、認知症の初期集中支援などの多職種チームを充実させる
6. その他 (具体的に：)

(2) 地域の人材育成 (2つまでに○)

1. 医療・介護の相互理解のための専門研修を進める
2. 栄養士、歯科衛生士なども含めた専門職の人材把握・発掘を行う
3. 多職種が参加して学ぶ講演会や学習会を増やす
4. 多職種が参加して学ぶグループワークや事例検討会を増やす
5. 在宅医療や介護予防に関心のある地域活動リーダーを増やす
6. 在宅医療を担う訪問看護師などの人材育成を進める
7. その他 (具体的に：)

(3) サービス・基盤整備 (2つまでに○)

1. 随時対応の訪問介護看護などの在宅サービスを充実させる
2. 病院による、在宅療養の後方支援の仕組みを充実させる
3. 独居の方や医療依存度の高い方が在宅で暮らせる支援策を充実する
4. 医療や介護を受けながら住み続けられる高齢者の住まいを充実する
5. 要介護認定の簡素化など末期がん患者などのサービス利用をやすくする
6. その他 (具体的に：)

(4) 情報提供・相談支援の充実 (2つまでに○)

1. 在宅療養支援相談窓口の機能を充実させる
2. 地域包括支援センターに医療連携相談員・支援員を設置する
3. かかりつけ医をサポートする専門医制度をつくる
4. 講座などを開き、市民の「在宅療養」や「看取り」への関心を高める
5. 府中市内の医療・介護や福祉に関する社会資源マップを作成する
6. その他 (具体的に：)

問 33 最後に、在宅療養者に対する医療や介護サービスのあり方、介護保険制度、医療保険制度等を含め、医療と介護の連携についてのご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、1月13日（金）までに返送してください。